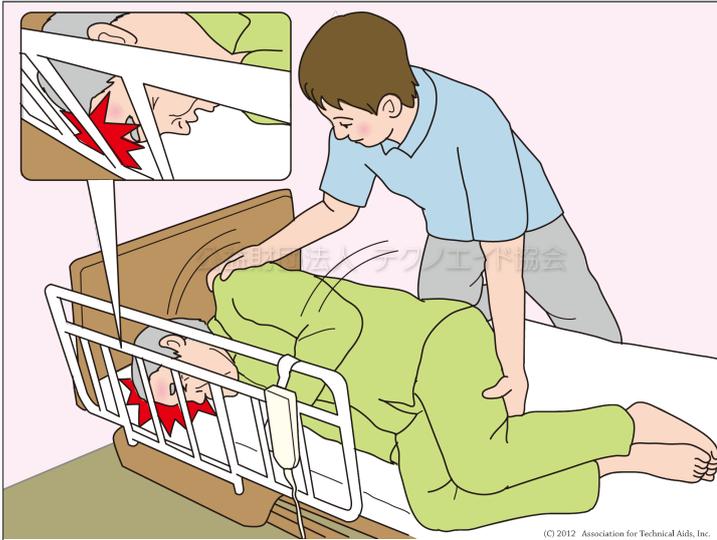


Case : 203

寝返りさせたところ、顔がベッドの柵（サイドレール）にぶつかってしまいケガをしそうになる

### 場面の説明

寝返りさせることに気を取られ、状況を確認せずに寝返りさせてしまい、利用者の顔がベッドの柵（サイドレール）にぶつかってしまった



|                |   |
|----------------|---|
| 利用シーン          |  起居・就寝<br> 移乗 |
| 主な利用場所         |  寝室  |
| 介護保険の種目        |  特殊寝台付属品   |
| 分類コード (CCTA95) | 181227 (ベッド用サイド・レール, ベッド固定式起き上がり手すり)  |
| 介護テクノロジー       | —   |
| 二次元バーコード       |   |

### 解説

介助者の不注意が大きな要因ではありますが、ベッドの幅にも注目してください。介護用のベッドは一般のベッドよりも幅が狭く、寝返りをさせる前に寝位置をずらすなど介護の手間もかかります。部屋が狭いなどの理由で幅の狭いベッドを選ぶ時がありますが、このような短所も理解した上で、総合的に判断して適切なものを選定しましょう。

### 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：目測を見誤った
- 人：介助方法が雑だった
- モノ：介護用のベッドは幅が狭い